

科目番号	25-304-181	学期	A セメスター	単位数	2
法学部との合併	有	法科大学院との合併		受入学生	修博
他コースとの合併		他研究科との合併	有	公共政策	
担当教員	湊 一樹				
題目	現代南アジアの政治				
授業の目標・概要等	<p>1947年の独立以降、インドは国政選挙と地方選挙を定期的実施し、民主主義体制が安定した国と認識されてきました。近年では、経済や外交・安全保障の分野で影響力を発揮するようになったことで、インドは国際社会での存在感を着実に高めています。その一方で、インドの「大国化」をめぐる言説は一面的で、明らかな誇張や不確かな内容が含まれていることも少なくありません。</p> <p>本授業では、独立以降のインドの現代史を視野に入れながら、2014年から政権を担うナレンドラ・モディ政権のもとでインドがどのように変容を遂げたのかを解説します。「世界最大の民主主義」「世界の人口大国」「グローバルサウスの盟主」など、インドについて語られるイメージに引きずられずに、実態を冷静に見極めるために必要な知識と能力を各受講者が身に着けることを目指します。</p>				
授業計画	<p>第1回 イントロダクション</p> <p>第2回 なぜインドは理解されないのか</p> <p>第3回 現代インドの基礎知識：政治・経済・外交（1）</p> <p>第4回 現代インドの基礎知識：政治・経済・外交（2）</p> <p>第5回 ナレンドラ・モディとは何者なのか：生い立ちからグジャラート州首相時代まで</p> <p>第6回 「グジャラート・モデル」と「モディノミクス」</p> <p>第7回 前半のまとめ</p> <p>第8回 ワンマンショーとしてのモディ政治（1）</p> <p>第9回 ワンマンショーとしてのモディ政治（2）</p> <p>第10回 インドの新型コロナ対策はなぜ失敗したのか</p> <p>第11回 グローバル化するモディ政治</p> <p>第12回 2024年総選挙と第3次モディ政権</p> <p>第13回 後半のまとめ、練習問題の解説、質疑応答</p>				
授業の方法	講義形式が中心になりますが、グループワーク形式も取り入れる予定です。				
成績評価の方法	試験によって評価します。				
教材・主要文献等	<p>教科書： 湊一樹『「モディ化」するインド 大国幻想が生み出した権威主義』（中公選書、2024年）</p> <p>参考書： アマルティア・セン／ジャン・ドレーズ（湊一樹訳）『開発なき成長の限界 現代イン</p>				

	<p>ドの貧困・格差・社会的分断』(明石書店、2015年) 伊藤融『インドの正体 「未来の大国」の虚と実』(中公新書ラクレ、2023年) 田所昌幸『素顔の現代インド』(慶応大学出版会、2021年) 間永次郎『ガンディーの真実 非暴力思想とは何か』(ちくま新書、2023年) 堀本武功・村山真弓・三輪博樹編『これからのインド 変貌する現代世界とモディ政権』(東京大学出版会、2021年) ヤン＝ヴェルナー・ミュラー(板橋拓己訳)『ポピュリズムとは何か』(岩波書店、2017年) ラーマチャンドラ・グハ(佐藤宏訳)『インド現代史 1947-2007(上・下)』(明石書店、2012年) 質問・相談</p>
履修上の注意	<p>授業の各回について指定される文献を必ず読み、内容を理解するようにしてください。講義で指定文献の内容をすべて説明することはできないので、自ら学ぶことが求められます。予習は必要ありませんが、復習は必ずしてください。 授業を履修するうえで困ったことがある場合には、遠慮することなく相談してください。可能な限り対応します。</p>
使用言語	日本語